

# 大学院教育支援機構 (DoGS) 海外渡航助成金 報告書

## Outcome report

計画名 Plan	直腸癌に対する低侵襲手術の術式選択に関する東西国際交流
氏名 Name	水野 良祐
研究科・専攻・学年 Graduate school/Division/Year level	医学研究科医学専攻 消化管外科学教室 博士課程2年次
渡航国 Country	イタリア
渡航日程 Travel schedule	2025年 1月 9日 ~ 2025年 1月 19日

- ページ数に制限はありません。No limits on the number of pages
- 写真や図なども組み込んでいただいて結構です。You can include pictures or illustrations.
- 各項目について具体的に記述してください。Please fill in each item specifically.
- 日本語または英語で記載ください。Please use Japanese or English.

### 渡航計画の概要 Outline of the travel plan

近年のロボット手術の普及に伴い、直腸癌に対する低侵襲手術は飛躍的な進歩を遂げている。今回、早期直腸癌に対する経肛門的内視鏡下マイクロサージェリー(transanal endoscopic microsurgery: TEM)について、世界でも有数の成績を誇るトリノ大学病院に手術見学で訪問した。また、トリノ大学病院が行っているロボット手術に関する研究も見学し、その知見を日本に持ち帰ることを目的とした。

### 成果 Outcome

直腸癌や結腸癌など複数の手術を見学し、本邦の手術方式との相違点・類似点を勉強することができた。特にリンパ節郭清については欧米と日本では大きく価値観が違うということは知識としては知っていたが、いざ現地での手術を見学することで、その大きな隔たりを体感することが出来たことは、非常に有益だったと考えている。TEMについては外科医が施行できる点や切除部位を縫合閉鎖できる点など非常に可能性を感じたが、本邦では消化器内科による内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)が普及し十分な成績を収めているため、そのまま広く導入することは難しいという認識を得た。

ロボット手術に関する研究としては、AIによるロボット手術の自動化に積極的に取り組んでいることが非常に興味深かった。まだ実用段階にはほど遠いものの、ロボット手術とAIという今後ますます注目されるであろう2つのスキームを融合させることは、将来性を感じる研究テーマであった。

### 今後の展望 Prospects for the future

TEMについて適切な症例を選択し、試験的に導入を検討したい。またロボット手術の自動化の研究について、今後もコラボレートしていくことを目指し、トリノ大学との継続的な関係を維持したいと考えている。

